

メディアプロジェクト演習 1

サーブレット課題でよく起きる不具合例と対策一覧

- Tomcat を起動してもトップページ `http://localhost:8080/` が表示されない。

Tomcat を停止後、資料 3.1 節 (15 ページ) に記載した以下のコマンドを実行すると設定が初期化され、動く可能性があります。

```
/kyozai/amaeda/2012mp1/scripts/tomcatSetup.sh
```

- サンプル (ReadForm や Quiz) は動くが新しく作ったサーブレットが動かない。

もしそのサーブレットが正常にコンパイルされているのであれば、`web.xml` にそのサーブレット名が追加されていない、あるいは `web1.xml` でタイプミスやタグの閉じ忘れの可能性もあります。`web.xml` への追加に関しては資料 3.5 節 (18 ページ) に説明があります。あるいは逆に存在しないサーブレットが `web.xml` に登録されている可能性もあります。`web.xml` だけ再びオリジナルのものをコピーしてくるというのも手だと思います。

```
/kyozai/amaeda/2011mp1/mytomcat/webapps/mysite/WEB-INF/web.xml
```

 にあります。

- Tomcat のトップページは表示されるが、サーブレットがひとつも動かない。

`$CATALINA_HOME/bin/startup.sh` を `~/mytomcat` の下位ディレクトリで実行していませんか。資料 3.2 節 (16 ページ) の太字部分に説明があります。

- 一部のサーブレットは動くが、一部は動かず `ClassNotFoundException` 等のエラーが表示される。

たとえば Quiz は動くが ReadForm は動かない、など。サンプルのソースを再度コピーしてきてコンパイルし、Tomcat を再起動しても変わらない。何らかのキャッシュが原因だと思うのですが、たとえば動かないサンプルソースを別の名前に変えてコンパイルし、`web.xml` に追加した上で起動すると、そのサーブレットは動くことがあります。

(`ReadForm.java` を `CheckForm.java` に変更し、クラス名も変えてコンパイル) `web.xml` への追加に関しては資料 3.5 節 (18 ページ) に説明があります。

- サーブレットで生じた例外をブラウザ上で見たい。

`PrintWriter out = response.getWriter();` というように `out` が定義されている場合、以下のように `out` を `printStackTrace` メソッドに与えることで、キャッチされた例外の内容がブ

ブラウザ上に表示されます。

```
try {
```

```
    (中略)
```

```
} catch (Exception e) {
```

```
e.printStackTrace(out);
```

```
}
```

■ それ以外の可能性

ホームディレクトリの使用量が 100MB を越えている場合はいろいろな不具合が生じますので、`du -sh` コマンドでサイズの大きいファイル/ディレクトリを見つけ、消去することで動くことがあります。たとえばブラウザのキャッシュなど。